

広報 かなた

かんだう・なかよし・だいすき

2000
8/1号
NO404

ごあんない

- (P.2~7) ……まちなわだい
- (P.8~9) ……お元気ですか?
- (P.10~11) ……みんなのひろば
- (P.12~17) ……くらしの情報



福岡県金田町

渡り初め



あなたの身近な出来事、地区の話題など、お寄せください。お待ちしております。

連絡は、広報担当 (☎22-0556)まで。

7月2日、宝見地区と人見地区の合同主催による仮称・もぐり橋の渡り初め式が行なわれました。

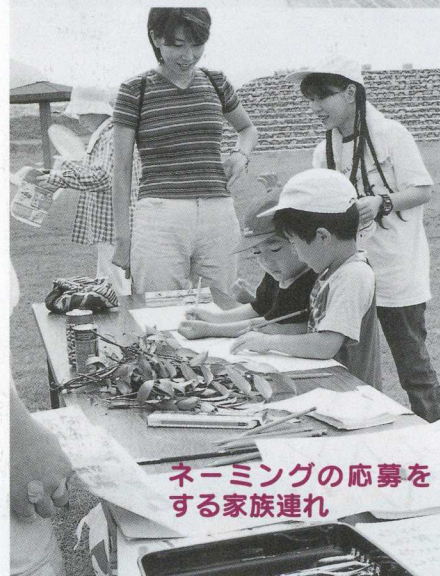
渡り初めの前にはネーミング募集も行なわれ、訪れた約50人の家族連れやお年寄りのおみせさんは、暑い

日差しのふりそそぐなか橋の完成を祝い式に参加されました。

また、河川遊歩道の宝見地区と人見地区が橋で結ばれるとあって、南木地区より急ぎお祝いの獅子舞が行なわれました。

橋を渡り終えたみなさんにはカナダ遊歩倶楽部より、デジタル万歩計が全員の方に手渡されました。

この橋が完成したことにより、金田町の河川遊歩道は金田大橋（田川市境）→合流点（仮称・もぐり橋）→平和橋（糸田町境）までが歩いて行けることになりました。



ネーミングの応募をする家族連れ



南木地区よりお祝いの獅子舞

潜下橋の渡り初め式にあたって

「金田町河川公園（沈下橋、遊歩道、広場、植栽、飛び石）については、行政の力だけでなく各地区より選出された河川公園整備計画協議会と、区民の発想と総意に基き河川公園維持管理要綱策定委員会の方々の創意工夫によって完成されたことと思います。」

「遊歩倶楽部としては、誠に嬉しいことであると共に、関係者各位の尽力に感謝を申し上げます。」

「彦山川・中元寺川・泌川は、ふるさと金田の貴重な財産であります。私たちは、この河川公園の有効活用を図るために遊歩倶楽部を発足しました。」

「その中で、川の自然との親しみや人と人とのふれあいを大切にしながら、歩くことによって健康増進に努めて生きていきたいと思っています。」

「現在、彦山川の遊歩道については、すでに田川市境まで完成されており、田川市側の遊歩道整備を待ち望んでいます。遊歩倶楽部の代表の一人である

人見の新開さんの熱意により、田川市においても遊歩道整備の主旨を理解の上、積極的に取り組んでいるそうです。」

「これが完成しますと、金田の河川公園と田川市の河川公園が一体化され、遊びと健康づくりのネットワークがさらに広がっていくと思われます。」

「遊歩倶楽部としても、大いに期待しているところであります。」

また、「遊歩倶楽部では、毎月第2・第4日曜日の午前6時から河川公園の散策を行なっていく計画です。」

遊歩倶楽部・代表 荒巻 修氏「談話」



渡り初めで参加者のみなさんに渡された万歩計は田川市のよしずやさんより遊歩倶楽部へ寄贈されたものです。

田川郡民体育大会 総合4位

第39回田川郡民体育大会が、4月26日行われたゲートボールの部を皮切りに開催され、7月9日の水泳の部、弓道の部を最終に、幕を閉じました。

金田町から10競技21種目に参加し、各種目の各部門で優勝や上位入賞をするなど、選手のみさんの活躍が目立ちました。

選手のみさんは、仕事を終えての練習を続けられた方や、急ぎ参加したという方も多数いらっしゃいました。

毎週日曜日ごとに行われた大会に、お忙しい中、積極的な参加で選手として出場されたみなさんの頑張りが、総合4位という成績に輝きました。

大会に参加されたみなさん、大変お疲れ様でした。また来年も活躍をよろしく願いいたします。



陸上

田川郡インディアカ大会



インディアカ



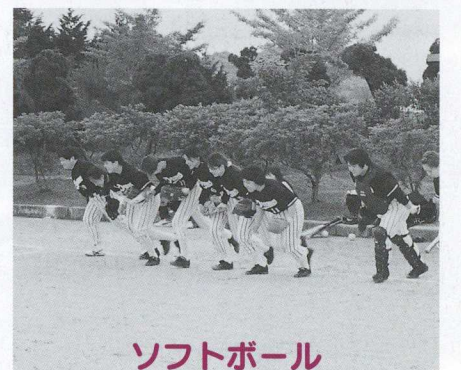
バドミントン



硬式庭球



水泳

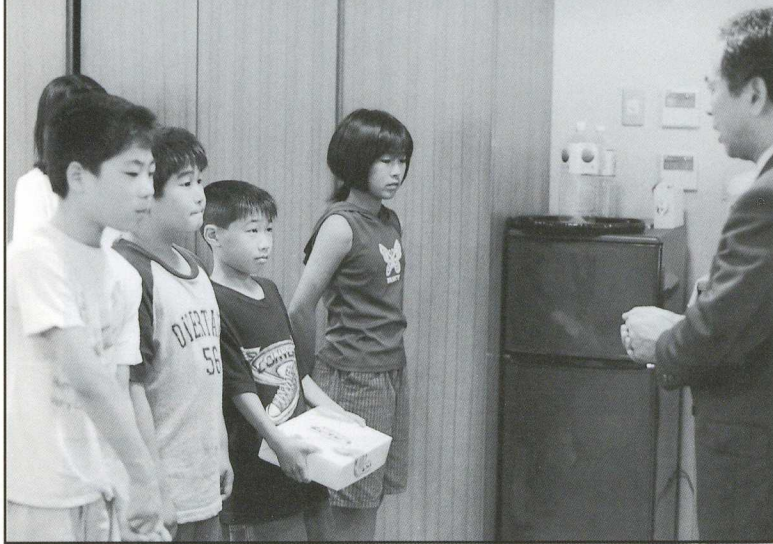


ソフトボール

田川郡民体育大会成績表

種目名	1位	2位	3位	3位	4位	5位以下
ゲートボール	香春	糸田	赤池		方城	添田・川崎・大任・赤・金田
インディアカ	金田	川崎	糸田		香春	方城(5位)・大任(6位)
軟式野球	糸田	川崎	方城	大任		香春・赤・金田
剣道	川崎	糸田	赤池		香春	添田・金田・方城
硬式庭球	赤池	川崎	金田		方城	添田・糸田
バドミントン	金田	香春	川崎		赤池	糸田・方城・大任・添田
バレーボール	川崎	糸田	方城		香春	大任・赤・赤池・添田
バスケットボール	川崎		方城		香春	添田・大任
卓球	赤池	川崎	香春		添田	糸田
ソフトテニス	添田	糸田	川崎		香春	
陸上	川崎	金田	香春		添田	方城・赤・大任・糸田・赤
水泳	川崎	金田	香春			
相撲	川崎	赤				
ソフトボール	川崎	金田	赤	糸田	糸田	赤池・大任・方城・添田
弓道	香春	添田	金田			
駅伝	大任	添田	方城			赤・金田・川崎

みどりがいっぱいになったらいいな!



金田小学校計画委員12人の児童のみなさんが20分休みを利用し、5月19日~31日までの間、みどりの募金活動を行ないました。

この期間で集まった募金は1万8,301円集まり、計画委員長の森 康斉くん(6年生)と、計画委員を代表して、尾崎綾子さん(6年生)、大井拓也くん(5年生)、今宮隆佑くん(5年生)が役場を訪れ、「このお金で金田町がみどりでいっぱいになったらいいな」と思い、12人の委員で集めました。「少しでも、みどりが増えるように役立ててください。」と挨拶し、募金が役場へ手渡されました。



同和問題講演会

部落差別はまだまだある。結婚問題を通し部落差別を体験した講師の松下百々代さんによる「私のふるさと」の講演会が、7月7日に総合会館で行なわれました。

大阪の公立中学校の教師として働いており、結婚を誓い合った男性がいたが、男性の母親が彼女の出身地を調べ結婚が破綻したといった講演内容でした。

地域により差別される現実がいまだに残っている。この現実を社会から無くさなければいけない。

また、人権を無視した陰湿ないじめ問題など、現代社会の多様化から生まれてくる事件へと発展しているのではなかろうか?。どこでそれをくいとめるのが、大切なことはなんだろう。相手の立場に立ち思いやりをもつこと。現実をはっきりと見極めること……。一刻も早く差別のかべをとりくずさなければいけない。



願いを込めて

清和園の園生のみなさんが心をこめてつくった七夕飾りが、6月30日、園生のみなさんによって役場玄関ホールに飾りつけされました。

役場に訪れたみなさんは、いったん足を止め七夕飾りに見入っていました。



高齢者生きがい健康教室 宮本武蔵講演会

6月22日、総合会館で、鹿児島県の歴史研究者・吉田喜代さんによる「筑前・豊前の宮本武蔵」の講演会が行なわれました。

武蔵にまつわる著書は300冊を超え、各地でいろいろな伝説があります。武蔵はどんな男だったのか?。ユーモアがあり、人間味あふれた趣味豊かな男だったのか?。いずれにしても、研究を続けていくことにより、いろいろな人間像がみえてくるようです。

町長杯ゲートボール大会



7月18日、第2回町長杯ゲートボール大会が、総合会館裏仮設ゲートボール場で行なわれました。

参加チームは4チームで大会が行なわれ、成績は次のとおりです。

- 優勝…混合チーム (松本雪雄、貞国勝江、岡本節子、宮崎安子、伊藤サカ工) 敬称略
- 準優勝…金田クラブチーム ■3位…神崎チーム
- 4位…福丸チーム



I・Loveカナダフェスタ

7月21日・22日の両日、I・Loveカナダフェスタが新町通りを歩行者天国にして行なわれました。

このフェスタの見所でもある仮装カーニバルに13チームが参加し、パフォーマンスを繰り広げ、観客を魅了しました。いずれのチームも衣装にこってて、今年の特徴としては、お色気たっぷりの小学生の女子たちや、それに引け目を取らないお色気男子も目立つ仮装カーニバルとなりました。

22日には、商工会青年部のみなさんの歌声が新町通りに響きわたり、2日間とも新町通りは、にぎわいをみせました。

また、仮装カーニバルの審査結果は次のとおりです。

- 最優秀賞…『アリババと七人の太鼓腹』(方城町)
- 優秀賞…『太陽のチャウ、チャウ娘』(金田町神崎)
- 審査員特別賞…『ピンク・ボーイズ』(方城町)
- パフォーマンス賞…『百姓娘』(田川市)
- コスチューム賞…『金田中学校3年3組 ななちゃん学級』(金田町神崎)
- ちびっ子賞…『カラフリ・子ギャル』(金田町金田)



「アリババと七人の太鼓腹」



「太陽のチャウ、チャウ娘」



「ピンク・ボーイズ」



「カラフリ・子ギャル」



「金田中学校3年3組 ななちゃん学級」



「百姓娘」